

指定管理者が指定管理業務以外に行う業務

- 1 高松駅前広場管理運営業務
- 2 ペDESTリアンデッキ管理運営業務
- 3 高松駅前広場公衆便所緊急通報対応業務
- 4 高松駅前広場地下レンタサイクルポート管理運営業務

※1～3の施設については、「高松駅前広場管理運営業務」として一括契約の予定。

(1) 高松駅前広場管理運営業務(1～3)についての資料

- | | | |
|-----|-------------------------|----------|
| 4-1 | 仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1～53 ページ |
| 4-2 | 令和2年度～令和6年度の決算額・・・・・・・・ | 54 ページ |
| 4-3 | 施設平面図・・・・・・・・・・・・・・・・ | 55 ページ |

(2) 高松駅前広場地下レンタサイクルポート管理運営業務についての資料

- | | | |
|-----|---------------------------|-----------|
| 4-4 | 管理運営業務仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・ | 56～58 ページ |
| 4-5 | 施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ | 59 ページ |
| 4-6 | 令和2年度～令和6年度の決算額・・・・・・・・ | 60 ページ |

高松駅前広場管理運営業務

1 高松駅前広場管理運営業務

高松駅前広場については、高松市立高松駅前広場地下駐車場及び高松市立高松駅前広場地下自転車駐車場の設備、防災等において密接な関係があることから、指定管理者と別途業務委託を締結し、一体的な管理運営を行っていただくものである。

令和 8 年度の業務内容は別紙「令和 8 年度高松駅前広場管理運営業務委託特記仕様書」のとおりとし、指定期間中毎年度、原則同様の内容とする。

2 委託期間

委託期間については、一年間とし、指定期間中毎年度当初に市と業務委託契約を締結すること。

3 損害賠償

ア) 業務受託者の責めに帰すべき理由により、業務の実施に関し、施設、設備又はその他の物件を破損した場合には、現状に復旧し、又はその損害を賠償しなければならない。

イ) 業務受託者の責めに帰すべき理由により、業務の実施に関し、高松市又は第三者に生命・身体・財産上の損害が生じたときは、法令に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。この場合において、速やかにその内容を書面により高松市に報告しなければならない。

令和 8 年度高松駅前広場管理運営業務委託特記仕様書

第 1 業務概要

1 委託業務名

令和 8 年度高松駅前広場管理運営業務

2 履行場所

高松市浜ノ町外 1 町地内

3 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

第 2 一般事項

- 1 「業務責任者」とは、契約書に規定する業務責任者をいい、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために連絡調整を行う者で、現場における受注者側の責任者をいう。
- 2 受注者は、業務を実施するに当たって業務責任者を定め、その氏名を発注者に通知するものとする。また、業務責任者を変更したときも同様とする。
- 3 業務責任者は、この契約履行に関し、その運営、取締りを行うほか、契約金額の変更、履行期間の変更、請負代金の請求及び受領、業務関係者に関する措置請求並びに契約の解除に係る権限を除き、この契約に基づく受注者の一切の権限を行使することができる。

第 3 仕様書

1 高松駅前広場管理業務仕様書

- 2 上記の他、本仕様書及びその他関係技術基準に従うとともに、業務の実施に当たり関連する法令を遵守し、常に中立性を保持しなければならない。
- 3 受注者は、業務に関し、毎月の業務実績を翌月の 1 5 日までに発注者に報告しなければならない。また、委託料のうち、電気使用料、消耗品費及び施設修繕費については、毎月の使用状況を発注者に報告すること。
- 4 業務遂行中において事故が発生した、又はそのおそれがある場合は、受注者は遅滞なく発注者にその状況を通知し、速やかに発注者の指示を受け、又は発注者・受注者協議してその処理に当たるものとする。

なお、緊急事態に際しては、受注者は善良な管理者の判断に基づきこれに対処するものとする。

- 5 その他発注者が定める事項に関して受注者は、通知の義務を負う。

第 4 業務委託料

- 1 需用費については、受注者が供給事業者の使用料の支払いをするものとする。
- 2 消耗品費については、受注者が必要な物品を購入し、その費用を購入業者に支払いをするものとする。
- 3 施設修繕料については、受注者が修繕工事の発注を行うとともに施工業者に費用の

支払いをするものとする。

- 4 施設修繕工事の発注については、あらかじめ発注者に報告するものとする。
- 5 受注者は、四半期毎に委託料（前払金）を発注者に請求するものとする。
- 6 発注者は、前項の規定により受注者から適法な請求を受けたときは、その日から起算して14日以内に発注者の指定する場所において、その支払いをしなければならない。
- 7 受注者は、前項の規定により委託料の支払いを受けたときは、当該委託料のうち、需用費と役務費を令和9年3月31日現在でこれを精算するとともに清算書を提出しなければならない。また、精算残金があるときは、速やかにこれを発注者に返納するものとする。

第5 その他

- 1 受注者における作業の実施に当たり、故意又は過失により発注者又は第三者に損害を与えた場合は、受注者がその責めに任ずるものとする。
- 2 受注者は、作業の実施中において、破損箇所を発見した、又は設備の不具合な箇所を発見した場合は、直ちに発注者まで報告すること。
- 3 受注者は、「高松市発注の建設工事等の契約に係る暴力団等排除措置要綱」に基づき、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）暴力団等（暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）、暴力団関係者（暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団員以外の者で、暴力団と関係を持ちながら、その組織の威力を背景として同法第2条第1号に規定する暴力的不法行為等を行うもの若しくは暴力団に資金等を供給すること等によりその組織の維持及び運営に協力し、若しくは関与するものをいう。）その他不当要求行為を行う全ての者をいう。以下、「暴力団等」という。）から不当要求行為（不当又は違法な要求その他この契約の適正な履行を妨げる一切の不当又は違法な行為をいう。以下、「不当要求行為」という。）を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出ること。

（2）暴力団等から不当要求行為による被害を受けた場合は、速やかに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に被害届を提出すること。

（3）受注者の下請業者が暴力団等から不当要求行為を受け、又は不当要求行為による被害を受けた場合は、受注者に報告するよう下請業者を指導すること。
また、下請業者から報告を受けたときは、発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出ること。

- 4 受注者は、この契約による事務を処理するため個人情報を取り扱うに当たっては、次の事項を遵守しなければならない。

（1）受注者は、この契約による事務により知り得た個人情報について、漏えい、

滅失及びき損の防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報記録された資料等を発注者の承諾なしに複写し、又は複製してはならない。
 - (3) 受注者は、この契約による事務を処理するために、発注者から提供を受け又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報を記録した資料等は、この契約の完了後、直ちに発注者に返還し又は引き渡すものとする。ただし、監督員が別に指示したときは当該方法によるものとする。
 - (4) 受注者は、前3号に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに監督員に報告し、その指示に従うものとする。
- 5 労働関係法規の遵守及び適正な労働条件の確保に関しては、次によること。
- (1) 所定労働時間については、労働基準法に基づき、工事の施工や業務の実施に当たっては、就労の実態を踏まえ、完全週休2日制の導入や1日の労働時間を縮減する等、法定労働時間の週40時間（特例措置の適用を受ける事業にあつては、週44時間）を遵守すること。また、時間外、休日及び深夜（午後10時から翌日の午前5時まで）に、労働させた場合においては、同法に定める率の割増賃金を支払うこと。
 - (2) 雇入れの日から起算して6か月間継続勤務し、全労働日の8割以上出勤した労働者に対して、最低10日の年次有給休暇を付与すること。いわゆるパートタイム労働者についても、所定労働日数に応じて年次有給休暇を付与すること。
 - (3) 労働者の雇入れに当たっては、賃金、労働時間その他の労働条件を明示した書面を交付すること。
 - (4) 賃金は毎月1回以上、一定の期日にその全額を直接、労働者に支払うこと。支払の遅延等の事態が起こらないよう十分配慮すること。
 - (5) 労働保険はもとより、労働者の福祉の増進のため健康保険及び厚生年金保険は法令に従い加入すること。なお、健康保険及び厚生年金保険の適用を受けない労働者に対しても、国民健康保険及び国民年金に加入するよう指導すること。
 - (6) (1) から (5) までに定めるもののほか、労働基準法、労働安全衛生法ほか労働関係法規を遵守すること。
- 6 売買、貸借、請負その他の契約を市との間で締結し専ら当該契約に係る業務、事務等の履行中において、法令等に違反する事実が生じ、又は生じるおそれがあると思料するときは、市の内部公益通報制度により通報することができます（同制度における通報方法：電子メール又は書面を高松市公正職務審査会に提出（原則として提出者の氏名を明らかにする必要があります。）⇒メールアドレス：naibu.tuho.shinsakai@nifty.com

書面提出の場合の宛先：総務局コンプライアンス推進課内高松市公正職務審査会）。

※市の内部公益通報制度について定めた「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」と同条例の施行規則（いずれも総務局コンプライアンス推進課所管）は、契約監理課ホームページに掲載しています。

- 7 受注者が業務の遂行に当たり、受注者の責めに帰すべき事由により発注者又は第三者に損害を与えたときは、直ちに発注者にその旨を届けるとともに、損害賠償の責に任ずるものとする。
- 8 受注者は、前項の損害を補填するために、次の金額を最低限度として損害保険の加入を行う。
 - （１） 発注者又は第三者に対する身体上の損害については、被害者１人につき５千万円とすること。ただし、１事故につき５億円とすること。
 - （２） 発注者又は第三者の物的損害については、１事故につき１億円とすること。
- 9 契約期間内に付加した設備等について、受注者は契約期間完了時に契約前の状態に復旧しなければならない。ただし、次年度への契約の更新がある場合はこの限りではない。

高松駅前広場管理業務仕様書

高 松 市

目 次

- i 高松駅前広場管理業務仕様書
- ii ペDESTロリアンデッキ（高松駅北線上空部）管理運営業務仕様書
- iii 高松駅前広場公衆便所緊急通報対応業務仕様書
- iv エレベーター保守点検仕様書
- v エスカレーター保守点検仕様書
- vi メンテナンス仕様書
（地震時管制運転装置、火災時管制運転装置、停電時自動着床装置、車椅子）
- vii 防犯カメラシステム仕様書
- viii 潮汐データ入力業務実施仕様書
- ix 海水池ポンプ切替業務仕様書
- x サポート高松花時計点検業務仕様書
- xi 高松駅前広場海水池造波干満装置保守点検業務仕様書

1 業務の目的

高松駅前広場を中心としたサポート高松は、四国の玄関として整備されており、その管理の特殊性を十分認識し、常に良好な景観及び機能を維持することを目的として管理業務を行うこと。

2 管理運営の基本方針

高松駅前広場の設置目的を効果的に達成するよう、常に善良な管理者の注意を持って下記の業務を履行すること。

3 施設、設備管理業務

(1) 業務体制について

ア 業務を良好に遂行するための人員配置体制とすること。

イ 業務を行う者は、高松駅前広場の施設概要・設備概要を理解し、業務に従事すること。

(2) 業務内容について

① 高松駅前広場の保守に関すること。

ア 高松駅前広場において定期的に一日1回以上巡回を行うこと。

イ 高松駅前広場の施設、設備又は、その他の物件に事故又は破損及び滅失等が発生した場合は適切に一時対応をするとともに高松市に連絡すること。なお、その他の物件には海水池の生物を含むとともに飼育を行うこと。

② 高松駅前広場の修繕に関すること。

ア 一時対応を行ったのち適切に修繕を行いその内容を高松市に報告すること。

ii ペDESTロリアンデッキ（高松駅北線上空部）管理運営業務仕様書

（都市計画課）

1 歩行者デッキ概要（歩行者デッキ（高松駅北線上空部））

- (1) 設置目的 歩行者デッキは、サンポート高松総合整備事業により、ハーバーpromナードから高松シンボルタワーを經由し高松駅前広場までを2階レベルで移動できるようにし、歩行者の安全性の向上をはかる施設として設置されている。高松駅北線上空部の歩行者デッキは、高松駅前広場（ホテルクレメント高松西側）から高松シンボルタワー（マリタイムプラザ2階入口）までを連結している。

- (2) 供用開始 平成15年10月22日

- (3) 施設概要

歩行者デッキ （高松駅北線上空部）	延長	28.0m
	幅員	4.0m
	床面積	112.0 m ²
	照明器具	18 個

2 管理運営の基本方針

業務受託者は、高松市の条例その他の関係規定を遵守し、歩行者デッキの設置目的を効果的に達成するよう、常に善良な管理者の注意を持って下記の業務を履行すること。

3 業務の基準等

- (1) 業務

業務体制について

ア 業務を良好に遂行するための人員配置等業務体制とすること。

イ 業務を行う者は、歩行者デッキの施設概要・設備概要を理解し、管理業務に従事すること。

- (2) 業務の内容

- ① 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の保守に関すること。

ア 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）において、巡回・監視を定期的（1日に一度以上）に行うこと。

イ 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の施設、設備又はその他の物件

において、事故又は破損及び滅失等が発生した場合には、適切に一時対応を行い、高松市に報告をすること。

② 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の修繕に関すること。

ア 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の施設、設備又はその他の物件において、事故又は破損及び滅失等が発生した場合には、適切に一時対応を行い、高松市に報告した後、適切に修繕を行うこと。

イ 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の施設、設備又はその他の物件において、修繕を行った場合には、修繕した内容を高松市に報告すること。

ウ 歩行者デッキ（高松駅北線上空部）の施設、設備又はその他の物件において、修繕を行った場合には、修繕記録簿を作成すること。

iii 高松駅前広場公衆便所緊急通報対応業務仕様書

(環境施設対策課)

1 業務箇所

(1) 施設名 高松市高松駅前広場公衆便所

(2) 所在地 高松市浜ノ町6番1

2 業務内容

(1) 管理人対応時

ア 警報作動時現場で異常の有無を確認すること。(警報ブザーの取扱いを含む。)

イ 警備会社からの連絡の応対を行うこと。

ウ 異常がある場合、直ちに市に報告するとともに通報等適切な処理を行うこと。

(2) 機械警備

ア 警備会社は警報作動時現場で異常の有無を確認すること(警報ブザーの取扱いを含む。)

イ 異常がある場合、直ちに市に報告するとともに通報等適切な処理を行うこと。

3 設備概要 非常用呼出ボタン4箇所、警報ブザーリセットボタン1箇所、警報盤ランプ1箇所

4 業務委託料 当該業務にかかる費用は委託料として指定管理者に支払うものとする。

高松駅前広場エレベーター保守点検業務については、高松市と受託者との間で以下の条項により保守点検業務を行うものとする。

1 高松市が受託者に委託する業務（以下「業務」という）の条件は、次のとおりとする。

2 メンテナンスの条件

(1) 対象となる昇降機並びに業務範囲は、別紙仕様書のとおりとする。

(2) 受託者は技術員又は監督技術員を派遣し、前号の昇降機を適宜調整し良好な運転状態に保つよう保守を実施すること。

ア 受託者が行う昇降機各部の点検、給油、調整及び受託者の判断により必要と認めた機器を構成する部品に対する修理又は取替を行うこと。

イ 受託者は、定期的に安全装置の全般にわたって点検を行うほか、必要に応じて機能試験を行うこと。

(3) 前号で定めた修理又は取替の工事範囲は、昇降機を通常使用する場合に当然生ずべき磨耗及び損傷に限るものとし、高松市の不注意又は不適切なる使用、管理その他受託者の責によらない事によって生じた修理又は取替工事は本契約に含まれないものとする。

(4) 諸法規の改正又は官公庁の命令若しくは指導による設備の改造又は新規付属物追加に関する工事は、本契約に含まれないものとする。

(5) 本契約で定めた作業は、受託者の就業時間（受託者の通常勤務日の通常時間）内に行い、受託者の就業時間外に行われる場合は本契約に含まれないものとする。ただし、昇降機が故障でかつ緊急を要する場合は、就業時間外でも高松市の要求により技術員を派遣して適切な処置を行うものとする。また、A 号機の停止作業（年 4 回、6・9・12・3 月）については夜間若しくは早朝作業とする。

3 遠隔監視条件

(1) 受託者は、昇降機遠隔監視を実施するため、高松市の昇降機機械室に

「監視装置」を設置するものとする。

- (2) 罷業、建物閉鎖、天災地変、その他、受託者の責によらない事由により、本契約上の受託者の業務を不可能にするに至ったときは、受託者の業務はその状況の止むまでの間自動的に停止するものとする。
- (3) 「監視装置」は、受託者の所有とし、高松市は受託者の承諾を得ずして第三者に転貸、譲渡の処分行為をしないこととする。
- (4) 「監視装置」の故障や通信回線の不通等監視機能が正常に機能していないときは、昇降機の運行を停止し、安全を確保するものとする。

エレベーターメンテナンス仕様書（油圧E L（A号機））

（リモートメンテナンスシステム付エレベーター）

（道路管理課）

エレベーターの正常な運転機能を維持するため、計画的に技術員を派遣すると共に常時遠隔監視を行ない、適切な点検とプログラムによる整備を行ない、受託者が必要と判定した場合は機器を構成する部品の修理又は取替を行なう。

対象エレベーター	品 名 型 式	台 数
	油圧式人荷用エレベーター（A号機） （H U - P F）	1 台

1 点検

監視装置による遠隔定期診断と必要に応じた技術員の巡回点検をプログラムで組合せエレベーター各部を点検、必要に応じて調整、注油を行なうこと。

2 整備

装置の稼動状態に適応したプログラムによる整備を行なうこと。

3 遠隔監視診断

24 時間機器を遠隔監視診断し、異常や不具合発生時には、出動、対策を行なうこと。

(1) 監視項目

閉じ込め故障、起動不能故障、安全装置動作、電源系統異常、走行異常、ドア開閉異常

(2) 診断項目

接触器動作状態、制御用マイコンの状態、ドア開閉状態、かご着床状態、運転性能

4 異常時の通話機能

閉じ込めなど異常時には、エレベーターかご内と受託者の管制センター又はサービス拠点との間で直接通話することが出来るようにすること。

5 検査立会い

建築基準法に基づく定期検査に立ち会うこと。

6 故障対策

24 時間出動体制をとり不時の故障に対し、対応すること。

7 作業の対象

区 分	作業の対象 (装置名)	主 な 作 業 内 容	ロープ式	油圧式
機械室	環境状況	室温確認	○	○
		機械室出入り口・室内状況点検		
		機械室整理整頓		
		非常用工具・消火器の確認		
		常備工具・常備部品の確認		
	制御盤	主接触器の動作状態点検	○	○
		盤内機器の外観点検		
		主接触器接点点検		
		各リレー動作状態点検		
		冷却ファン点検		
		各ターミナル締付		
		各端子締付		
		遠隔監視診断装置盤内外観点検		
		遠隔監視診断装置ターミナル締付		
		ヒューズ取替		
	電動機	電動機温度確認	○	○
		電動機運転状態点検		
		ロータリーエンコーダ回転音点検		
		電動機口出し線点検		
	巻上機	巻上機運転状態点検	○	
		巻上機ギヤ油油量点検		
		そらせ車回転状態点検		
		綱車・そらせ車溝点検		
	油圧機器	電磁バルブ締付		○
		各部油漏れ・異常音点検		
		油圧配管・継手・高圧ゴムホース点検(注)		
		油圧機器各ボルト締付		
		オイルパン点検		
		タンク外観点検		
		作動油(量・温度・白濁・汚れ)点検		
		油戻り状況点検		
		ストレーナ清掃、点検		
		ドレンフィルタ清掃、点検		
		冷却器運転状態点検(注1)		
		冷却器用ストレーナ清掃、点検(注1)		
	ブレーキ	動作状態点検	○	
		ドラム汚れ点検(注1)		
		ライニング摩耗量測定		
		制動力測定(注1)		
		ブレーキスイッチ点検(注1)		
		オーバーホール		
		ブッシュ摩耗点検		
		各ピン・軸受部傷、摩耗点検(注1)		
		プランジャー・スライダー摩耗点検(注1)		
		配線点検、端子・ターミナル締付		

(注 1) 装置付の場合の作業内容

区 分	作業の対象 (装置名)	主 な 作 業 内 容	ロープ式	油圧式
機械室	調速機	回転状態点検	○	
		各ピン部清掃、点検、注油		
		スイッチ点検		
		減衰効果測定		
		配線端子・ターミナル締付		
かご	運転状態	乗心地・振動・異常音点検	○	○
		着床状態・レベル点検		
	外部への連絡装置	呼出し通話確認	○	○
	停電灯装置	点灯・照度確認	○	○
	内装・照明・ファン	各機器点検	○	○
		天井扇回転状態点検		
	操作盤・表示ランプ	押ボタンスイッチ動作確認	○	○
		かご内停止・各操作スイッチ動作確認		
		かご位置表示装置点検		
	かごの戸・敷居	かご・乗場の戸当りゴム点検	○	○
		乗場とかご敷居との隙間測定		
		かごの戸相互間・戸と前柱間隙間測定		
		戸スイッチ相互位置測定、動作点検		
		ハンガーローラ・レール清掃、点検		
		振れ止めローラ点検		
		駆動ロープ清掃、点検、グリス塗布(注)		
		係合装置清掃、点検、注油		
		閉め安全装置・過負荷ドア反転装置・ 光電装置コード点検(注1)		
		かごの戸シュー点検		
		係合子と係合ローラ相互位置点検		
	戸閉め安全装置	戸閉め安全装置動作点検	○	○
		光電装置動作点検(注1)		
		過負荷ドア反転装置動作確認		
かご上	かご上環境状況	汚損状態点検、清掃	○	○
	戸の開閉装置	戸の開閉装置運転状態点検	○	○
		制御機器点検		
		駆動機構点検		
		モータのブラシ・コンミ点検		
		ロータリーエンコーダ点検(注1)		
	ガイドシュー・ローラ	かご上・プランジャーのガイドシュー・ローラ点検		○
		かご上・つり合おもりガイドシュー・ローラ点検	○	
	給油器(オイル)	給油器点検、注油	○	○
	かご上機器	かご上停止・操作スイッチ動作確認	○	○
		かご器具ボックス内部点検、締付		
		天井扇清掃、注油		

(注 1) 装置付の場合の作業内容

区 分	作業の対象 (装置名)	主 な 作 業 内 容	ロープ式	油圧式
乗 場	戸の開閉状態	音・振動・開閉速度点検	○	○
	乗場の戸・敷居	乗場の戸・三方枠外観点検	○	○
		戸クローザ機能・自閉力点検、注油		
		ハンガーローラ・レール清掃、点検		
		振れ止めローラ点検		
		駆動ロープ清掃、点検、グリス塗布		
		戸のシュー点検		
		乗場の戸相互間・戸と三方枠間隙間測定		
		乗場の戸廻りボルト締付(ポケット・敷居)		
		係合装置取付ボルト締付		
	ドアインター ロックスイッチ	ロック機構点検	○	○
		スイッチ動作点検		
	乗場ボタン・ 表示ランプ	インジケータ・押ボタン点検(ランプ含)	○	○
		ホールランタン点検(注1)		
昇降路 ・ ピット	環境状況	昇降路環境状況点検	○	○
		ピット内汚損状況・各機器点検		
		ピット内清掃		
	かご・おもり吊り車	かご・おもり吊り車回転音点検(注1)	○	
		かご・おもり吊り車溝点検(注1)		
	主・調速機ロープ	主ロープ取付部点検	○	○
		各ロープ錆・素線切れ点検		
	ガイドレール	各部点検	○	○
		レールブラケット・アンカーボルト締付		
	つり合おもり	各部点検	○	
		押え金具締付		
	リミットスイッチ	取付状態点検	○	○
		動作確認		
	非常止装置	非常止装置清掃、点検、注油	○	○
	移動ケーブル	走行状況点検	○	○
		傷・変形点検		
	プランジャー・ シリンダー	プランジャープーリ点検(注1)		○
		ジャッキグランド部清掃、点検		
		プランジャー傷・錆・汚れ状態点検		
	調速機	回転状態点検(注1)		○
		各ピン部清掃、点検、注油(注1)		
		スイッチ点検(注1)		
		減衰効果測定(注1)		
		配線端子・ターミナル締付(注1)		
	テンションプーリ	調速機テンションプーリ溝清掃、点検	○	○

(注 1) 装置付の場合の作業内容

区 分	作業の対象(装置)	主 な 作 業 内 容	ロープ式	油圧式
昇降路 ・ピット	昇降路・ピット内機器	ロータリーエンコーダ取付状態点検		○
		ピットスイッチ点検		
		油戻しポンプ運転状態、フィルタ点検		
	緩衝器	緩衝器固定状況点検	○	○
		オイルバッファ油量点検(注1)		
	かご下機器	かご下ガイドシュー・ローラ点検	○	○
		かご下プーリ点検(注1)		

(注 1) 装置付の場合の作業内容

意匠関係の清掃

作業の対象	周 期	作 業 の 内 容
三方枠 操作盤 戸・側板 シル	定期作業	ほうき又はウエス、ハンディモップ等を使用しての清掃
戸閉め安全装置 かご位置表示装置 天井清掃 天井照明カバー ドアカバー *ビジョンガラス	年 1 回集中作業	クリーナやハンディモップ等を使用しての清掃 (*ビジョンガラス不付きの場合は除く)

(注 2) いずれの場合も油性インク、ボールペン等による汚れの除去及び傷の補修は除外する。

８．機器を構成する部品の修理又は取替項目

区 分	修理の対象(装置名)	主な修理又は取替項目	ロープ式	油圧式
機械室	制御盤	バッテリー取替	○	○
		リレー取替		
		コンデンサー類取替		
	電動機	電動機巻線絶縁処理	○	○
		各軸受ベアリング取替		
		ロータリーエンコーダ取替		
	巻上機	ギヤ歯当り調整	○	
		各軸受ベアリング取替		
		綱車溝修正及び取替		
		ギヤ油取替		
		オイルシール取替		
	ブレーキ	ライニング取替	○	
	調速機	軸受ベアリング取替	○	
	油圧機器	ポンプ修理		○
		バルブ取替		
		電磁コイル取替		
		ユニットＯリング取替		
		ストレーナ取替		
		高圧ゴムホース取替(注3)		
		作動油取替		
		作動油冷却装置取替(注3)		
		ピクトリックジョイントラバーリング取替		
かご	外部への連絡装置	インターホンバッテリー取替	○	○
	停電灯装置	停電灯バッテリー取替	○	○
		停電灯ランプ取替		
	操作盤	操作盤スイッチ類取替	○	○
	かごの戸	ハンガーローラ取替	○	○
		駆動ロープ(ベルト)取替		
		スイッチ取替		
	戸閉め安全装置	コード取替	○	○
		スイッチ取替		
かご上	戸の開閉装置	駆動モータベアリング取替	○	○
		ロータリーエンコーダ取替		
		駆動ベルト取替		
		スイッチ取替		
	ガイドシュー・ローラ	ガイドシュー・ローラ取替	○	○
	かご上機器	ポジテクター取替	○	○
乗 場	乗場の戸	ハンガーローラ取替	○	○
		駆動ロープ取替		
		ドアインターロックスイッチ取替		
	乗場ボタン	押ボタンスイッチ取替	○	○

(注 3) 装置付の場合の修理又は取替項目

区 分	修理の対象(装置名)	主な修理又は取替項目	ロープ式	油圧式
昇降路・ピット	かご・おもり吊り車	かご吊り車ベアリング取替(注3)	○	
		おもり吊り車ベアリング取替(注3)		
	主・調速機ロープ	主ロープ切り詰め・取替	○	○
		調速機ロープ切り詰め・取替(注3)		
	移動ケーブル	移動ケーブル取替	○	○
	昇降路・ピット内機器	ロータリーエンコーダ取替		○
	調速機	軸受ベアリング取替(注3)		○
	テンションプーリ	テンションプーリベアリング取替(注3)	○	○
	プランジャー・シリンダー	グランド部ダストシール取替		○
		グランド部パッキン取替		
		プランジャープーリベアリング取替(注3)		
	かご下機器	かご下ガイドシュウ・ローラ取替	○	
		かご下プーリベアリング取替(注3)		

(注 3) 装置付の場合の修理又は取替項目

9 除外事項

次の事項は、本仕様書の修理及び取替作業には含まれない。

- (1) 意匠部品（乗かご、三方枠、かご床タイル、敷居、操作盤、戸、その他）塗装メッキ直し、修理及び部品の取替
- (2) 巻上機、電動機、制御盤等の機器の一式取替
- (3) 修理又は取替の装置、機器の搬出入に必要な建築関係の工事
- (4) 昇降路周壁及び建屋部分の改修
- (5) 諸法規の改正又は、官公署の命令及び指導により、現状の仕様変更や改造等が生じた場合の工事
- (6) 不注意、不適当な使用・管理により発生する修理又は取替
- (7) 地震等天災地変、その他の不可抗力により生じた一切の復旧

10 その他

(1) 修理又は取替の条件

諸法規の改訂又は官公署の命令若しくは指導による検査、装置、機器、部品の改造、新型への取替、新規取付けは含まない。

(2) 撤去品及び残材の処分

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は、無償で引取り、受託者の負担において処分すること。

(3) 作業の時間

故障対策を除き、点検、整備等は就業時間（通常勤務日の勤務時間）内に行なう。作業に必要な時間は運転休止をすること。

(4) 管理責任

エレベーターの占有若しくは管理に基づく責任は受託者の責任とはしない。

(5) 法律に基づく検査の費用

建築基準法に基づくエレベーター検査の受検費用は、含まない。

(6) エレベーター関連設備のメンテナンス

BGM装置、エアコンディショナー、地震感知器、煙感知器、消火設備、防災センター内設置の監視盤、一斉放送指令機能を有する集合インターホン等のエレベーター関連設備のメンテナンス（点検、整備）は、含まない。

(7) 管理ブックの取扱い

高松市が貸与する「日立エレベーター管理ブック」には、必要な昇降機の運行や管理に関する重要事項・注意事項が記載されているため、内容に沿って正しい運行管理をすること。なお、受託者が第三者（運行管理者等含む）に管理を委託する場合は、委託者に本管理ブックを貸与し、正しい運行管理をすること。

エレベーターメンテナンス仕様書（N0.3 機械室レスE L）

（リモートメンテナンスシステム付エレベーター）

エレベーターの正常な運転機能を維持するため、リモートメンテナンスシステムにより常時遠隔監視診断を行い計画的に技術員による、適切な点検を行う。また、エレベーターの稼動データを基に、設定した周期に従って機器の整備と修理を行う。なお、保全計画書記載以外の機器を構成する部品においても、受託者が必要と判定した場合は修理又は取替を行う。

対象エレベーター	品 名 型 式	台 数
	UAP-11-C060	1 台

1 定期点検

リモートメンテナンスシステムにより維持運行管理指針に記載された点検項目及び受託者が指定する点検項目について自動診断（運転含む）し、必要に応じ各部の調整、清掃、注油を行いエレベーターの性能を総合的に判断する。

2 定期整備

エレベーターの稼動データ等を基に、受託者が設定する周期に従って機器の整備を行うこと。

3 不具合対策

定期点検や整備等で異常や不具合又はその兆候が現れた場合、直ちに適切な処置をすること。

4 リモートメンテナンス

(1) 非常時の直接通話

閉じ込めなど故障時は自動的に、エレベーターかご内と受託者（管制センター又はサービス拠点など）との間で直接通話することができるようにすること。

(2) 遠隔監視

受託者（管制センター又はサービス拠点など）は常時運行状態を監視し、以下の信号受信時には、速やかに専門技術者を派遣し対策を行うこと。

No.	項 目	監視内容及び条件	備 考（免責条件）
1	閉じ込め故障	(1)行き先階釦を押し、行き先へ運転中、何らかの原因により、途中階に停止し、この状態が一定時間継続した場合。 (2)行き先階到着後、開くべきドアが開かない状態（半開き状態含）が一定時間継続した場合。	操作盤内停止スイッチ及びドアスイッチが投入されている場合
2	起動不能故障	(1)一定時間経過してもドアが閉じきらない場合 (2)エレベーター制御盤内のマイコンが故障し、エレベーターが起動しない場合。	操作盤内ドアスイッチの投入時及び開延長釦が操作されている場合
3	安全装置作動	(1)各種安全スイッチ（救出口開閉確認スイッチ・非常止めスイッチ等）が作動した場合。	操作盤内停止スイッチ投入、手動運転中の場合
4	電源系統異常故障	(1)エレベーター制御盤内の主電源がOFFし、遠隔監視装置との通信が一定時間途絶えた場合。 (2)リモートメンテナンスシステムとの通信が一定時間途絶えた場合。	手動運転中の場合
5	ドア開閉異常	(1)ドアが一定時間閉じない場合。（半開き状態含む） (2)ドア閉の繰り返しが同一階で、一定回数以上発生した場合。 (3)ドア閉時間が一定時間より遅く、同一階で一定回数以上発生した場合。	操作盤内停止、専用運転、ドアスイッチ投入、開延長・手動運転中の場合

(3) 異常の兆候診断

リモートメンテナンスシステムで常時運行状態や、各機器を診断し、受託者（管制センター又はサービス拠点など）が以下の信号受信時には、速やかに診断結果を分析し対策を行うこと。

No.	項 目	診 断 内 容	備 考（免責条件）
1	走行性能診断	① 起動状態 ② 加速状態 ③ 定常走行速度 ④ 速度の変動 ⑤ 減速状態	① 4 項の(2)の信号発生の場合 ② 操作盤内保守、専用、停止 スイッチ投入時など通常の運転状態ではない場合
2	ご利用状態診断	① 行き先ボタンや乗場ボタンの作動異常 ② 走行中非常停止 ③ マイコントラブル ④ インターホンバッテリー電圧低下	
3	乗り心地診断	① 荷重センサー異常※ ② 起動時の反転	
4	経年変化診断	① コンタクタ作動状態 ② ドア開閉時間	
5	ブレーキ精密診断	① 制動力診断 ② 固渋状態診断※	
6	乗り心地自動調整※	気温変化や経年で生じた負荷補償の変化を規定値に自動修正する。	センサーの有効範囲を超えるなど、受託者の専門技術者による調整を必要とする場合

※については、機種により実施しない場合がある。

リモートメンテナンスの機能は、リモートメンテナンス契約が受託者と締結されており、エレベーターへの電源が供給されてかつ、電話回線に異常が無い場合に有効とする。

5 故障対策

24 時間出動体制で、故障や事故に対し、リモートメンテナンスシステムの遠隔モニタリング機能に加え、現地でのメンテナンスツールによる故障診断を行い、更に必要な場合にはテクニカルサポート員の派遣を行い迅速に最善の手段で対策すること。

6 作業の対象及びリモートメンテナンスによる診断

下記、各々の作業内容に関しては、受託者の専門技術者が定期的に実施するとともにリモートメンテナンス欄に記載のあるものはリモートメンテナンスシステムにて自動診断すること。

区 分	作業の対象	主 な 作 業 内 容	リモート メンテナンス
かご	運転状態	運転性能点検	○
		着床状態・レベル点検	○
		定常走行速度・速度変動点検	○
		起動・加速・減速状態点検	○
	外部への連絡装置	呼出し・通話確認	
		バッテリー状態確認	○
		電話回線チェック	○
	停電灯装置	点灯・照度確認	
	内装・照明・ファン	各機器点検	
		天井扇回転状態点検	
	操作盤・表示ランプ	押ボタンスイッチ状態点検	○
		かご内停止・各操作スイッチ作動状態確認	○
		かご位置表示装置点検	
	戸・敷居	かごの戸・天枠外観点検	
		戸開閉状態・スイッチ相互位置点検	○
		戸レール・ハンガー・振れ止めローラ点検	
		駆動ロープ点検、グリス塗布(注1)	
		かごの戸シュー・戸当りゴム点検	
		かごの戸相互間・戸と前柱間隙間確認	
	戸閉め安全装置	戸閉め安全装置作動状態点検	○
		戸閉め安全装置コード点検	
		光電装置作動状態点検(注1)	○
		光電装置コード点検(注1)	
		過負荷ドア反転装置作動状態確認	○
		過負荷ドア反転装置コード点検	
かご上	かご上環境状況	汚損状態点検、清掃	
	戸の開閉装置	戸の開閉装置作動状態・駆動機構点検	○
		モータのブラシ・コンミ点検	
		ロータリーエンコーダ点検(注1)	
	ガイドシュー	かご上ガイドシュー点検	○
	給油器(オイル)	給油器点検、注油	
	かご上機器	かご上停止・操作スイッチ作動状態確認	
かご上制御機器点検			
天井扇点検、清掃			
乗 場	戸の開閉状態	音・振動点検	
		開閉状態・速度点検	○
	戸・敷居	乗場の戸・三方枠外観点検	
		戸クローザ機能・自閉力点検、注油	
		戸レール・ハンガー・振れ止めローラ点検	
		駆動ロープ点検、グリス塗布(注1)	
		戸のシュー・戸当りゴム点検	
		乗場の戸相互間・戸と三方枠間隙間確認	
	ドアインターロックスイッチ	ロック機構点検	
		スイッチ作動状態点検	○
	乗場ボタン・表示ランプ	インジケータ・押ボタン点検(ランプ含)	○
		ホールランタン点検(注1)	

かご下	かご下機器	かご下ガイドシュー点検	
		かご下プーリ回転状態・溝点検	
	非常止装置	非常止装置点検、注油	
昇降路・ピット	環境状況	非常・常備工具・部品の確認	
		昇降路環境状況点検	
		昇降路内清掃	
		ピット内清掃	
		ピット内汚損状況・各機器点検	
	制御盤	盤内機器の外観点検	
		マイコン内トラブル履歴確認・点検 (メンテナンスコンピューター等によるデータ収集診断)	○
		主接触器作動状態・接点点検	○
		各リレー作動状態点検	○
		冷却ファン点検	
		各ターミナル・端子確認	
		リモートメンテナンスシステム盤内外観点検	
	電動機	電動機運転・発熱状態点検	
		電動機口出し線点検	
		電動機軸受グリス給油(注1)	
		綱車回転状態・溝点検	
		ロータリーエンコーダ回転状態点検	
	ブレーキ	作動状態点検	○
		制動点検(注1)	○
		ブレーキスイッチ点検(注1)	○
		オーバーホール	
		ライニング摩耗状態点検	
		各ピン・軸受部傷、摩耗状態点検(注1)	
		配線・端子・ターミナル点検	
	頂部プーリ	頂部プーリ回転状態・溝点検	
	おもり吊り車	おもり吊り車回転状態・溝点検	
	主・調速機ロープ	主ロープ取付部・テンション点検	
		各ロープ摩耗・錆・素線切れ状態点検	
	ガイドレール	接合部・段差・給油状態点検	
	つり合おもり	つり合おもりガイドシュー点検	
		おもり押え金具取付け・固定状態点検	
	リミットスイッチ	取付状態点検	
		作動状態点検	○
	移動ケーブル	傷・変形・芯線状態点検	○
	調速機	回転状態点検	
		各ピン部点検、注油	
		スイッチ点検・減衰効果確認	
		配線端子・ターミナル確認	
	テンションプーリ	調速機テンションプーリ点検	
	緩衝器	固定状況点検	
		油量点検(注1)	

昇降路内の清掃

区 分	作業の対象	作 業 の 内 容
かご	戸、敷居 戸閉め安全装置	ほうき、ウエス、専用清掃工具を使用しての清掃
かご上	戸の開閉装置 ガイドシュー かご上機器	
乗り場	戸、敷居 ドアインターロックスイッチ	
かご下	かご下機器 非常止機器	
昇降路・ピット	制御盤、電動機 ブレーキ、調速機 主・調速機ロープ ガイドレール、ブラケット つり合おもり 各プーリ・スイッチ 緩衝器	

意匠関係の清掃

作業の対象		周 期	作 業 の 内 容
簡易清掃	三方枠 操作盤 戸・側板 敷居溝	定期点検の都度	ほうき又はウエス、ハンディモップ等を使用しての清掃

(注 1) 装置付の場合の作業内容

(注 2) いずれの作業対象部位も油性インク、ボールペン等による汚れの除去及び傷の補修は除外する。なお、作業に必要な下記消耗品を補充すること。補充用油脂一切（作動油、マシン油、グリス類）、ヒューズ類、ランプ類（発光ダイオード除く）、ウエス

7 エレベーターの構成機器や部品の修理又は取替項目

下記、各々の修理又は取替項目に関しては、エレベーターの稼動データを基に設定した周期で実施するとともに定期点検や整備等で必要と認めた場合は修理又は取替を行うこと。

区 分	修理の対象 (装置名)	主な修理又は取替項目
かご	外部連絡装置	インターホン電池取替
		インターホン（子機）取替
	停電灯装置	停電灯電池取替
		停電灯用ランプ取替
	操作盤	かご位置表示器プリント板取替
		運転盤押ボタン（階床・開・閉ボタンなど）取替
		操作スイッチ取替
	かごの戸	かご側ドアハンガー取替
		ゲートスイッチ取替
		ベルトプーリ（駆動側・従動側）取替
		ローププーリ（駆動側・従動側）取替
		ストッパーボルト取替
		戸開力保持装置取替
		戸開力保持装置用ローラ取替
		ドアマシンカムスイッチ（クローズ・オープン用）取替
		戸ガイドシュー取替
		戸当りゴム取替
	戸閉め安全装置	戸閉め安全装置マイクロスイッチ取替
		戸閉め安全装置コード取替
		ガイドチェーン取替
	照明装置・ファン	照明用ソケット取替
		照明用スターター取替
		かご照明機器（安定器）取替
		かご内ファン取替
		かご内照明（蛍光灯）取替
かご 下	戸の開閉装置	ドアマシンVベルト取替
		ドアマシン駆動ベルト取替
	ガイドシュー	ガイドシュー（かご側）取替
	かご上機器	器具BOX内プリント板取替
		器具BOX内主開閉器取替
		ソリットステートリレー取替
		着床装置取替
		手すりスイッチ取替
かご 下	かご下機器	給油装置・パッド取替
		荷重センサー取替
		かご下防振ゴム取替
乗場	乗場の戸	かごプーリシールドベアリング取替
		乗場の戸ロック装置用ローラ取替
		乗場の戸スイッチ取替
		乗場の戸ハンガー取替
		乗場の戸ローププーリ取替
		乗場の戸ロープ取替
		乗場の戸クローザーバネ取替
		戸ガイドシュー取替
		戸当りゴム取替
	乗場ボタン・表示器	階床表示器プリント板取替(注1)
昇 降 路・ピ ット	制御盤	乗場押ボタン取替
		トランジスタ冷却ファン取替
		主開閉器取替
		電磁接触器取替
		接触器取替
		定電圧装置一式取替
		制御用プリント板取替
		抵抗取替

	回生抵抗取替
	コンデンサ取替
	整流器取替
	コンバータ取替
	インバータスイッチング素子取替
	ブレーキ解放バッテリー取替
	バリスタ取替
	ヒューズ取替
	ノイズフィルタ取替
	ホールC T取替
電動機	モータ端子BOXゴム取替
	綱車修正
	軸受けベアリング取替
	モータ用回転数検出機・パッキン取替
	防振ゴム（モータ側）取替
ブレーキ	電磁ブレーキコイル取替
	電磁ブレーキライニング取替
	ゴムカバー・シート取替
ブレーキ	電磁ブレーキコイル取替
	電磁ブレーキライニング取替
	ゴムカバー・シート取替
頂部プーリ	頂部プーリシールドベアリング取替
かご・おもり吊り車	つり合いおもりシールドベアリング取替
	吊り車シールドベアリング取替
主・調速機ロープ	主ロープ取替
	調速機ロープ取替
	主ロープ切り詰め
	調速機ロープ切り詰め
移動ケーブル	移動ケーブル取替
昇降路内スイッチ	終端階強制減速停止装置取替
	行き過ぎ防止用装置取替
	かご停止用装置取替
調速機	調速機スイッチ取替
	ガイドプーリベアリング取替
	ウェートプーリベアリング取替
ピット各機器	ピットフロートスイッチ取替
	ピットスイッチ取替
つり合いおもり	ガイドシュー（つり合いおもり側）取替
その他	インターホン
	インターホン（親機）取替

（注 1） 装置付の場合の作業内容

8 メンテナンスレポート

(1) 定期点検、整備、修理内容は作業の都度、リモートメンテナンスシステムによる監視、診断結果を毎月報告する。報告内容は以下のとおりとする。

- ① 定期点検、整備、修理部位・内容
- ② リモートメンテナンスによる監視結果と対応内容
- ③ リモートメンテナンスによる異常の兆候診断結果と対応内容
- ④ エレベーターの利用状況

9 除外事項

次の事項は、本仕様書の修理及び取替作業には含まれていない。

- (1) 意匠部品（乗かご、三方枠、かご床タイル、敷居、操作盤、戸、その他）塗装メッキ直し、修理及び部品の取替。ただし、オプションにて別途契約した場合はこの限りでない。
- (2) 巻上機、電動機、制御盤等の本体機器の一式取替。
- (3) 修理又は取替の装置、機器の搬出入に必要な建築関係の工事。
- (4) 昇降路周壁及び建屋部分の改修。
- (5) 諸法規の改正又は、官公庁の命令及び要求により、現状の仕様変更や改造等が生じた場合の工事。
- (6) 不注意、不適当な使用・管理により発生する修理又は取替。
- (7) 地震等天災地変、その他の不可抗力により生じた一切の復旧。

10 その他

- (1) 修理又は取替の条件

諸法規の改正又は官公庁の命令若しくは要求による点検・改修、又は新規付属物追加に関する工事は本契約に含まない。

- (2) 撤去品及び残材の処分

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は、無償で引取り、受託者の負担において処分する。

- (3) 作業の時間

故障対策を除き、点検、整備等は就業日（通常勤務日）の就業時間（通常勤務日の勤務時間）内に行うこと。作業に必要な時間は運転休止をすること。

(4) 検査立会

建築基準法第 12 条、又は労働安全衛生法第 41 条に定める法定検査の立会を行うこと。

(5) 法律に基づく検査

本契約に建築基準法に基づく定期検査等を含む場合は、法令に定められた項目を検査し、所轄官公庁に報告すること。

(6) エレベーター関連設備のメンテナンス

BGM装置、エアコンディショナー、地震感知器（エレベーター付加仕様以外）、煙感知器、消火設備、防災センター内設置の監視盤（エレベーター付加仕様以外）、一斉放送指令機能を有する集合インターホン等のエレベーター関連設備のメンテナンス（点検、整備）は、含まない。

(7) 管理ブックの取扱い

高松市が貸与する「日立エレベーター管理ブック」には、必要な昇降機の運行や管理に関する重要事項・注意事項が記載されているため、内容に沿って正しい運行管理をすること。なお、受託者が第三者（運行管理者等含む）に管理を委託する場合は、委託者に本管理ブックを貸与し、正しい運行管理をすること。

11 保守用ツール

日立メンテナンス契約書約款の保守用ツール設置条件に記載の内容に関し、受託者所有の下記品目を製品に取付けている。なお、受託者とメンテナンス契約を締結しない場合、又は解約した場合は、速やかに下記品目を受託者が取り外すこと。

No.	品 名
1	エレベーターリモートメンテナンスシステム関連部品一式
2	メンテナンススイッチボックス本体(MS B) (注1)
3	メンテナンススイッチボックス一時掛けフック (注1)
4	メンテナンススイッチボックス収納ボックス (注1)
5	長寿命式ガイドレール給油装置
6	点検灯(ハンドランプ)
7	点検灯掛け金具
8	かご上増灯(ケーブル含む)
9	命綱取付け用金具
10	ピット入出用手掛け金具
11	乗場ドア解放用ロープ
12	ファイナルリミットスイッチ(F L S)ロック金具
13	非常止め試験用単管パイプ
14	ブレーキコントロールスイッチ、メンテナンススイッチボックス切替えコネクタ
15	メンテナンススイッチボックス接続用コネクタ
16	セフティーキャッチスイッチ開放用コネクタ
17	ピット運転切替用コネクタ
18	ブレーキ診断用センサー (注1)
19	遠隔監視用電話回線及び電話回線装置 (注1)

(注1) 装置付きの場合

高松駅前広場エスカレーター保守点検業務については、高松市と受託者との間で以下の条項により保守点検業務を行うものとする。

(契約業務の対象となる昇降機設備)

- 1 契約業務の対象となる昇降機設備（以下、対象設備という）及び対象設備設置建物の所在地・名称は、別紙「エスカレーター点検対象設備一覧」記載のとおりとする。

(契約業務に基づく作業範囲)

- 2 対象設備を正常かつ良好な運転状態に保つよう、次の作業を実施する。

(1) 点検・手入れ保全

- ① 定期的に計画的な点検・手入れ保全（給油・調整・清掃等）を実施する。
- ② 点検・手入れ保全の箇所・機器・内容は、〈別表一Ⅰ〉記載のとおりとする。
- ③ 点検・手入れ保全を行ったときは、「作業報告書」を提出する。

(2) 消耗部品の供給

- ① 作業に必要な部品のうち、消耗部品（通常の使用による磨耗・劣化により、補完・交換を頻繁に行う小部品・油脂類等）を供給する。
- ② 消耗部品の範囲は、〈別表一Ⅱ〉のとおりとする。

(3) 品質管理

1年に1回、対象設備の総合的な機能を確認する検査を行う、品質検査の結果については、「定期検査報告書」を提出する。

(4) 緊急時の対応

- ① 高松市から、対象設備について故障等の緊急事態が発生した旨の通報を受けた場合には、速やかに、対象施設の運行状態を確認するとともに事態に応じた適切な処置をとること。この処置の結果については、「作業報告書」を提出する。
- ② ①にかかわらず、処置に伴い消耗部品の範囲を超える部品等の取替が

必要な場合は、高松市又は高松市の指定した者と業務受託者が別途協議のうえ、これを行うものとする。

(5) 維持管理のための情報提供サービス

高松市による日常管理を、より万全に行うために、安全確保・正しい利用方法について指導を行う。また、関係諸法規改正の連絡等の情報提供サービスを行う。

(作業報告)

3-1 受託者は対象施設の現場で行う作業については、作業完了後に前項に定める報告書を高松市又は高松市が指定した者に現地で提出する。また、現地で提出できない場合は、高松市と受託者の事前の合意により、郵送で提出する。ただし、受託者が報告書の提出を不要と判断して口頭で作業結果を報告し、高松市がその口頭報告に特段の異議を述べないときは、報告書を提出しない。

3-2 高松市は、郵送された報告書副本に確認印を押捺し、受託者の発送日から14日以内に受託者に到着するよう返送するものとする。この期間に報告書副本が返送されないときは、報告内容に異議がないものとする。

(業務対象外作業)

4 以下に定める作業は契約の対象外とし、高松市が受託者にこれらの作業を行わせようとするときは、高松市又は高松市が指定した者と受託者が別途協議し、作業内容、仕様、実施時期及び料金をさだめたうえで、受託者がこれを行うものとする。

① 受託者の責に帰すべからざる事由（経年劣化・自然損耗その他の不可抗力、第三者の行為、発注者の過失等）によって発生した対象施設の機能低下、不全、異常、故障等に対する部品の修理、取替。

② 関係法令の改正又は官公庁の命令若しくは指導による対象施設の改修、新規付加物の設置に関する工事。

③ 意匠関係工事、一切の建築関係工事、その他第2項に定める契約業務範囲以外の作業。

(作業時間帯)

5 受託者は緊急事態に対応する場合を除き、契約業務に基づく作業を受託者

の所定就業時間内（受託者の通常勤務時間内）に行うものとし、高松市の都合により受託者の所定就業時間外に作業を行うこととなった場合は、別途料金を加算するものとする。

（作業中の運転休止）

- 6 受託者は、対象施設の点検・修理その他の作業を行うにあたり、必要に応じて対象設備の運転を休止することができるものとする。

（撤去部品）

- 7 受託者は作業を行い、対象施設から構成部品等を交換・撤去したときは、その撤去部品の所有権を取得し、受託者の責任において関係法令に基づき処分するものとする。

（予告解約）

- 8 高松市又は受託者は契約業務を終了させようとするときは、書面をもって相手方に通知するものとし、その場合、契約業務は書面が相手方に到着した日から 30 日を経過したときに終了するものとする。

（中断の復旧）

- 9－1 契約業務が中断された場合において、高松市から中断事由が解消した旨の通知があり、その中断を復旧するときは、受託者は事前に対象設備を点検し、過度の劣化、対象設備を構成する機器の障害・故障の有無を確認し、その調整・修理を行うことを条件とすることができる。
- 9－2 9－1 の点検、調整及び修理の費用は、高松市の負担とする。

エスカレーター点検対象設備一覧

対象設備設置建物の所在地			香川県高松市浜ノ町6番1					
対象設備設置建物の名称			高松駅前広場歩行者用デッキ					
対 象 設 備	機種	操作方法	階高 (m)	速度 m/min	用途	型名	台数 (号機)	竣工検査 年月 (西暦)
	JF1200 (屋外・防滴)	可逆	5.25	30	乗用	1200	1 (#A1)	2001-05
	JF1200 (屋外・防滴)	可逆	5.25	30	乗用	1200	1 (#B1)	2001-05
付加装置		自動運転装置 移動手摺清掃サービス (エスピカ H)						

<別表－I> 三菱昇降機設備 点検内容（エスカレーター）

■エスカレーター

箇 所	機 器 名	点 検 内 容	L・D・K・ E・G	A	J
機械室	室内環境	○整理・清掃状態	○	○	○
	制御盤 起動盤 リレー盤	○制御盤・起動盤・リレー盤固定状態 ○制御盤・起動盤・リレー盤扉開閉状態 ○制御盤本体・起動盤・リレー盤劣化・損傷の有無 ○リレー・接触器作動状態 ○リレー・接触器の劣化・損傷の有無 ○リレー・接触器取付状態 ○抵抗器の劣化・損傷の有無 ○抵抗器取付状態 ○各回路絶縁状態 ○その他機器作動状態 ○その他機器劣化・損傷の有無	○	○	○
	駆動機	○駆動機作動状態 ○駆動機劣化・損傷の有無 ○駆動機回り各機器取付状態 ○駆動機回り各機器劣化・損傷の有無 ○駆動機油劣化・油漏れの有無 ○各給油部の給油状態 ○電動機絶縁状態	○	－	○
	電磁ブレーキ	○電磁ブレーキ作動状態 ○電磁ブレーキ劣化・損傷の有無 ○ブレーキスイッチ劣化・損傷の有無 ○ブレーキスイッチ取付・設定状態	○	－	○
	調速機	○調速機作動状態 ○調速機回り各スイッチ作動状態 ○調速機取付状態 ○各給油部の給油状態	－	－	○
	制動機 DCS (駆動チェーン 安全スイッチ)	○制動機劣化・損傷の有無 ○制動機取付・設定状態 ○各給油部の給油状態 ○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	○	－	○
	駆動チェーン	○チェーンの劣化・損傷の有無 ○チェーン給油状態	○	－	○
	スプロケット	○スプロケット取付状態 ○スプロケット劣化・損傷の有無 ○各給油部の給油状態	－	－	－
	SCS (踏段チェーン 安全スイッチ)	○スイッチ組立劣化・損傷の有無 ○スイッチ組立取付・設定状態 ○各給油部の給油状態 ○端子締付状態	○	－	○
	ターンマチック	○ターンマチック組立の劣化・損傷状態 ○ターンマチック組立の作動状態 ○各給油部の給油状態	－	○	－

箇 所	機 器 名	点 検 内 容	L・D・K・ E・G	A	J
機械室	SLS (踏段リンク 安全スイッチ)	○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	—	○	—
	その他	○端子箱の取付状態 ○配管・配線の劣化・損傷の有無	○	○	○
ドライブ ユニット	ドライブユニット	○ユニット取付・設定状態 ○ユニットの劣化・損傷の有無	—	○	—
	駆動機	○電動機作動状態 ○電動機劣化・損傷の有無 ○電動機回り各機器取付状態 ○各給油部の給油状態 ○電動機絶縁状態	—	○	—
	減速機	○減速機作動状態 ○減速機回り各機器取付状態 ○減速機回り各機器劣化・損傷の有無 ○減速機油劣化・油漏れの有無 ○各給油部の給油状態	—	○	—
	電磁ブレーキ	○電磁ブレーキ作動状態 ○電磁ブレーキ劣化・損傷の有無 ○ブレーキスイッチ劣化・損傷の有無 ○ブレーキスイッチ取付・設定状態	—	○	—
	調速機	○調速機作動状態 ○調速機回り各スイッチ作動状態 ○調速機取付状態 ○各給油部の給油状態	—	○	—
	DCS (駆動チェーン 安全スイッチ)	○制動機劣化・損傷の有無 ○制動機取付・設定状態 ○各給油部の給油状態 ○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	—	○	—
	駆動チェーン	○チェーンの劣化・損傷の有無 ○チェーン給油状態	—	○	—
	スプロケット	○スプロケット取付状態 ○スプロケット劣化・損傷の有無 ○各給油部の給油状態	—	○	—
踏段レール	踏段	○踏段の劣化・損傷の有無 ○踏段の取付・設定状態	○	○	○
	踏段チェーン	○チェーンの劣化・損傷の有無 ○チェーン給油状態 ○駆動ローラの劣化・損傷の有無 ○駆動ローラ取付・設定状態	○	—	○

別表－I－ES－②

箇所	機器名	点検内容	L・D・K・E・G	A	J
階段レール	階段リンク	○リンクの劣化・損傷の有無 ○リンク給油状態 ○駆動ローラの劣化・損傷の有無 ○駆動ローラ取付・設定状態	—	○	—
	サイドローラ	○サイドローラの劣化・損傷の有無 ○サイドローラ取付・設定状態 ○サイドローラ回転状態	○	○	○
移動手摺り	レール	○レールの劣化・損傷の有無 ○レール取付・設定状態 ○レール汚損状態	○	○	○
	CRS (踏段異常走行検出スイッチ)	○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	○	○	○
	SSS (スカートガード安全スイッチ)	○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	○	○	○
	移動手摺り HGS (ハンドガード安全スイッチ) NSS (ニュアル安全スイッチ) ISS (インレット安全スイッチ)	○移動手摺りの劣化・損傷の有無 ○移動手摺り取付・設定状態 ○手摺り案内レールの劣化・損傷の有無 ○手摺り案内レール取付・設定状態 ○スイッチ劣化・損傷の有無 ○スイッチ取付・設定状態 ○端子締付状態	○	○	○
	手摺り駆動装置	○手摺り駆動装置の劣化・損傷の有無 ○手摺り駆動装置作動状態 ○手摺り駆動装置取付・設定状態 ○各種ローラ回転状態 ○各種ローラ劣化・損傷の有無 ○各種ローラ取付・設定状態 ○チェーンの劣化・損傷の有無 ○各給油部の給油状態	○	○	○
照明 意匠	照明器具	○照明の点灯状態 ○照明器具の劣化・損傷の有無 ○照明器具取付状態	○	○	○
	内側板 デッキボード	○デッキボード・内側板の劣化・損傷の有無 ○デッキボード・内側板取付・設定状態	○	○	○
	コム ランディングプレート	○コム・プレートの劣化・損傷の有無 ○コム・プレート取付・設定状態	○	○	○

別表－I－ES－③

【付加装置】

箇 所	機 器 名	点 検 内 容	L・D・K・ E・G	A	J
自動運転装置	検出装置	○検出装置取付・設定状態 ○検出装置作動状態 ○検出装置の劣化・汚損状態	○	○	○
	制御装置	○制御機器取付・設定状態 ○リレー・接触器作動状態 ○リレー・接触器の劣化・損傷の有無 ○リレー・接触器取付状態	○	○	○
可変速度装置	制御装置	○制御機器取付・設定状態 ○リレー・接触器作動状態 ○リレー・接触器の劣化・損傷の有無 ○リレー・接触器取付状態	○	○	○
	キースイッチ	○キースイッチの作動状態	○	○	○

【付加サービス】

箇 所	付加機器名	サービス内容	L・D・K・ E・G	A	J
踏段清掃 サービス (エスピカS)	踏段清掃器 (注)	○踏板面の清掃 ○ライザー部の清掃	—	—	○
移動手摺り 清掃サービス (エスピカH)	移動手摺り 清掃装置 (注)	○移動手摺り表面の清掃 ○移動手摺り表面のワックス塗布	—	○	○

(注) 本付加サービスの提供に使用する機器は当社所有物です。

＜別表－Ⅱ＞ 消耗部品（エスカレーター）

部品名	機 種					
		L・D形	E・K形	G 形	A 形	J 形
可動・固定コンタクト	(注1)	○	○	○	○	○
制御盤・受電盤内ヒューズ	(注2)	○	○	○	○	○
コムライトランプ・スターター	(注3)	○	○	○	○	○
点検用オイル、グリス類	(注4)	○	○	○	○	○
くし		○	○	○	○	○
ウェス、サンドペーパー		○	○	○	○	○
ビス、ナット、ワッシャー		○	○	○	○	○

(注1) リレーによっては、本体取替（工事扱い）となる場合があります。

(注2) N F プレーカは含みません。

(注3) ランプ関係には、スリムライン、ネオン管、インテリア照明、その他特殊な発光体は含みません。

(注4) 駆動機のギヤオイルは含みません。

別表－Ⅱ－ES－①

(地震時管制運転装置、火災時管制運転装置、停電時自動着床装置、車椅子)

(昇降設備共通項目)

標記に掲げる装置の機能を維持するため、計画的に技術員を派遣し、適切な点検を行なう。なお、受託者が必要と判定した場合は機器を構成する部品の修理又は取替を行なう。

1 故障対策

24 時間出動体制をとり不時の故障に対し、対応すること。

2 確認検査

本装置の機能確認のため、年 1 回動作状態並びに関連動作における機能及び本装置各部の状態を検査し総合的に機能の確認を行なうこと。

3 作業の時間

故障対策を除き点検は、就業時間(通常勤務日の勤務時間)内に行なう。作業に必要な時間は運転休止をすること。

4 除外事項

次の事項は、本仕様書の修理及び取替作業には含まない。

- (1) 制御盤等の機器の一式取替
- (2) 修理又は取替の装置、機器の搬出入に必要な建築関係の工事
- (3) 昇降路周壁及び建屋部分の改修
- (4) 諸法規の改正又は、官公署の命令及び指導により、現状の仕様変更や改造等が生じた場合の工事
- (5) 不注意、不適当な使用・管理により発生する修理又は取替
- (6) 地震等天災地変、その他の不可抗力により生じた一切の復旧

5 その他

- (1) 建屋電源設備など本装置に直接的に関連する設備でも、本装置以外の設備に関する点検並びに立会いはしない。
- (2) 本装置に関し特殊な技術を要求される場合は、専門（技術）会社に作業の一部を委託することがある。
- (3) 本仕様書は、本装置の付属するエレベーター・エスカレーターについてメンテナンス契約が、締結されている場合にのみ有効とする。

vii 防犯カメラシステム仕様書

(道路管理課)

1 「防犯カメラシステム」機器一式

No.	機器の名称	型式	台数
1	ITV カメラ	NC-8020	4 台

2 同上機器に対する下記の修理対応業務一式

「防犯カメラシステム」機器の消耗部品の寿命等により機器の故障が発生した場合、故障した機器を修理する。

1 業務概要

- (1) 名称 高松駅前広場海水池潮汐データ入力業務
- (2) 場所 高松駅前広場海水池
- (3) 業務概要 海水池用のゲート開閉のため、毎年度の潮位データ作成・入力、関連電機機器の点検、ディスプレイ装置の正常運転確認を行う。
- (4) 業務範囲 海水ゲート
 - ア 毎年度の潮位データ作成及び入力
 - イ 自動運転制御の点検及び確認
 - ウ 液晶ディスプレイの表示の確認

2 一般事項

- (1) 支給材料 本業務施行にあたり、設備の運転操作に必要な電源は無償で支給されるものとする。
- (2) 疑義等 業務内容について疑義がある場合は、発注者と受注者が協議の上決定するものとする。

3 施行計画 海水ゲート

- ① 毎年度の潮位をもとにパソコンにより入力データを作成し、そのデータを現地のパソコンに入力する。
- ② 操作盤の電気回路の点検を行う。
- ③ ディスプレー装置の電気回路点検を行う。
- ④ 海水ゲートが上記①のデータで正常に作動する事を確認する。
- ⑤ ディスプレー装置が上記①のデータを正常に表示している事を確認する。

4 安全管理

- (1) 一般事項 本業務場所は、高松駅前広場であり、一般市民の方々が利用されている事を十分に認識し、一般市民の安全を考慮した安全管理を行うものとする。
- (2) 安全管理 制御盤室のドアを開放状態にする場合は、立ち入り禁止措置をするとともに立ち入り禁止表示をするものとする。

ix 海水池ポンプ切替業務仕様書（A 系統から B 系統への切替の場合）

（B 系統から A 系統への切替は A と B を読み替える）

（道路管理課）

（切替日時確認）

- 1 受託者の切替作業担当者は、毎月第 2 水曜日の前日午後 3 時に四電ビジネスの切替作業担当者と四国電力の切替作業担当者に、切替作業の実施についての確認の連絡をする。

（切替作業準備確認）

- 2 受託者は切替当日の開始時間午後 2 時 55 分までに、四電ビジネス及び四国電力に切替作業の準備完了について、確認の連絡をする。

（切替作業開始）

- 3 受託者は午後 3 時に A 系統の送水ポンプの停止を四国電力に連絡する。

（送水停止）

- 4 四国電力は A 系統送水ポンプを停止したことを受託者に連絡する。

- 5 受託者は四電ビジネスに A 系統送水ポンプの停止を連絡する。

（停止系統の封水）

- 6 受託者及び四電ビジネスは、A 系統送水バルブを閉じて A 系統送水管を封水する。

- 7 四電ビジネスは受託者に封水完了を連絡し、受託者は四国電力に封水完了の連絡をする。

（排水）

- 8 受託者は、B 系統排水管バルブを開放し、四国電力に排水開始と B 系統送水ポンプ起動指示の連絡をする。

（海水送水開始）

- 9 四国電力は、B 系統排水ポンプを起動させ、受託者に送水開始の連絡をする。

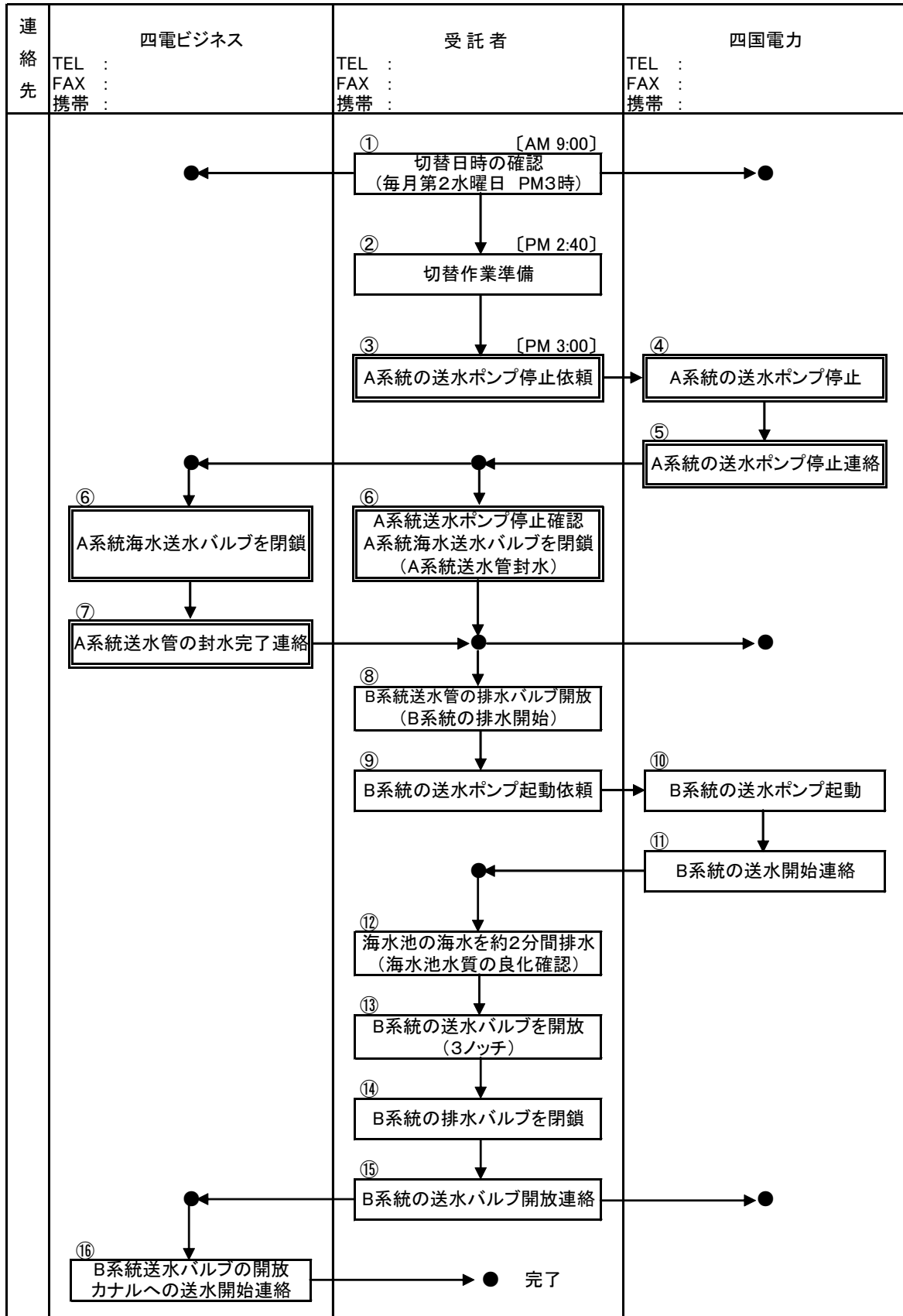
（海水地への海水送水）

- 10 受託者は、海水を所定時間（約 2 分）排水し、海水の水質良化を確認後、B 系統送水バルブを開放（3 ノッチ）し、排水バルブを閉じる。

- 11 受託者は、四電ビジネスと四国電力に B 系統送水をバルブを開放したことを連絡する。
(カナルの海水送水)
- 12 四電ビジネスは、B 系統送水バルブを開放し、受託者にカナルへの送水開始の連絡をする。
(送水量等の確認)
- 13 四国電力は、B 系統送水量等の運転状況を確認し、受託者に報告する。
- 14 四電ビジネスは、B 系統のカナルへの送水量を確認し、受託者に報告する。
- 15 受託者は、四電ビジネスと四国電力に切替作業完了の連絡をする。

修景用海水送水系統切替手順

(A 系統 → B 系統の場合)



1 業務履行場所 高松駅前広場内花時計

2 業務概要

- (1) 花時計設備の点検を年3回行う。
- (2) 点検内容については、別紙1・2に記載の内容で行う。
- (3) 点検月は下表による。

名称	点検月	点検項目
定期点検	7月	別紙 1
総合点検	11月	別紙 1 ・ 別紙 2
定期点検	3月	別紙 1

サンポート高松花時計点検仕様書及び報告書

別紙 1

点検部	点 検 内 容	良・否	備考
親時計	AC 電源入力電圧測定 (AC100V±10%) 実測値 AC V		
	時計信号出力信号確認		
	H1、H2 間電圧測定 実測値 DC V		
	15、16 間電圧測定 実測値 DC V		
	デジタル時計の状態 (正時に対して 秒 遅れ)		
	デジタル時計修正確認 (液晶に文字欠けの無い事)		
	停電テスト (AC 電源スイッチ約 3 分間 OFF)		
	取付状態の確認及び清掃		
制御盤	AC 電源入力電圧測定 (AC100V±10%) 実測値 AC V		
	各取付状態及び動作確認		
	光ファイバー光源ユニット		
	アンプ		
	プログラマブルコントローラー		
	電源レギュレーター (100V/48V)		測定値 (V)
	電源レギュレーター (100V/24V)		測定値 (V)
	換気用ファン (温度センサーにて動作確認)		
	15、16 間電圧測定 実測値 DC V		
	制御盤の清掃		
花時計	スピーカー取付状態及び動作確認		
	各文字部取付状態の確認 (LED の取付状態)		
	各文字部 LED 点灯状態の確認 (1～12 時)		
	光ファイバー点灯確認		
	針の指示位置の確認 (時分針がズレていれば修正)		

備考	
----	--

点検部	点 検 内 容	良・否	備考
花時計 駆動部	時計信号出力信号確認		
	H1、H2 間電圧測定 実測値 DC V		
	15、16 間電圧測定 実測値 DC V		
	各ギアの噛み合わせの確認		
	各ギアのグリスアップ		
	制御ユニットの外観に異常の無い事 (部品の変色、錆びが無い事)		
	花時計駆動部、内装部に水が溜まって無い事		
	各端子の増し締め		
	針取付軸にキズが無い事		
	軸駆動部に注油		
	針取付具合の確認		
備考			

xi 高松駅前広場海水池造波干満装置保守点検業務仕様書

(道路管理課)

本仕様書は、高松市が委託する「高松駅前広場海水池造波干満装置保守点検業務委託」に適用する。受託者は本仕様書のほか関係諸法令を遵守し、保守点検業務（以下「業務」という。）を履行しなければならない。

(目的)

第1条 受託者は、信義誠実をもって、この契約を履行し、高松駅前広場海水池の正常な環境を維持するよう努めることを目的とする。

(委託場所)

第2条 高松市浜ノ町（高松駅前広場海水池）

(業務内容)

第3条 受託者は、次の業務を行う。

(1) 造波装置

- ア 軸受部目視
- イ 軸受部グリスアップ
- ウ 本体塗装目視
- エ 軸受劣化状況確認
- オ バランス調整

(2) 海水ゲート

- ア 海水ゲート目視（モーター、軸を含む）
- イ 水密ゴム劣化状況確認
- ウ チェーングリスアップ
- エ スピンドルネジ部グリスアップ

(3) 海水ゲート制御盤

- ア 電源確認（電圧測定）
 - ・ 動力電源電圧 R0-S0 間(AC200V)
 - ・ 単相電源電圧 X0-Y0 間(AC100V)
 - ・ 無停電電源電圧 XUPS-YUPS(AC100V)

※それぞれ電圧が±10%以内であること。

イ 動作確認

- ・ ランプテスト（集合表示灯点灯確認）
- ・ 手動操作での海水ゲート起立、転倒動作確認

(4) 送水ポンプ（操作盤含む）

ア 操作盤電源確認

イ 送水ポンプ目視（モーター、軸を含む）

ウ 水密ゴム劣化状況確認

（実施要領）

第4条 受託者は、業務の着手、履行、完了にあたり、関係官公署、指定管理者その他の関係機関への必要な諸手続き等を遅滞なく行うこと。

2 実施時期については、高松市・受託者協議のうえ定めるものとする。

3 保守点検に伴い必要と判断された修理等については高松市に対し適切な助言を行うものとする。

（連絡責任者）

第5条 受託者は、この契約の履行に関して、高松市と連絡する連絡責任者を定めて、その氏名、連絡方法等をあらかじめ市に通知するものとする。なお、連絡責任者は管理技術者と兼ねることができる。

（従業者に対する責任）

第6条 受託者は、従業者の身元、風紀、衛生及び規律の維持に関して、一切の責任を負わなければならない。

（報告）

第7条 受託者は、保守点検の終了後、点検結果を1週間以内に高松市に報告するものとする。

（定めのない事項等の処理）

第8条 この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書の条項に疑義が生じたときは高松市・受託者が協議して決定するものとする。

件名 高松駅前広場海水池造波干満装置保守点検業務

点検記録報告書

装 置 名	異常の有無	点 検 内 容	備 考
(1) 造波装置 軸受部 本体塗装 軸受劣化状況	無・有 無・有 無・有		
(2) 海水ゲート 扉体 戸当り 軸 駆動装置 水密ゴム劣化状況	無・有 無・有 無・有 無・有 無・有		
(3) 海水ゲート制御盤 動力電源電圧 単層電源電圧 無停電電源電圧	無・有 無・有 無・有		
(4) 送水ポンプ 操作盤 送水ポンプ 軸 駆動装置 水密ゴム劣化状況	無・有 無・有 無・有 無・有 無・有		

整備記録簿

装 置 名	整備の有無	点 検 内 容	備 考
(1) 造波装置 バランス調整 軸受部 その他	無・有 無・有 無・有		
(2) 海水ゲート チェーン スピンドル その他	無・有 無・有 無・有		
(3) 海水ゲート制御盤 その他	無・有		
(4) 送水ポンプ その他	無・有		

令和 2 年度～令和 6 年度の決算

高松駅前広場

令和 2 年度

	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場管理運営業務委託	5,133,337
合 計		5,133,337

令和 3 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場管理運営業務委託	5,660,020
合 計		5,660,020

令和 4 年度

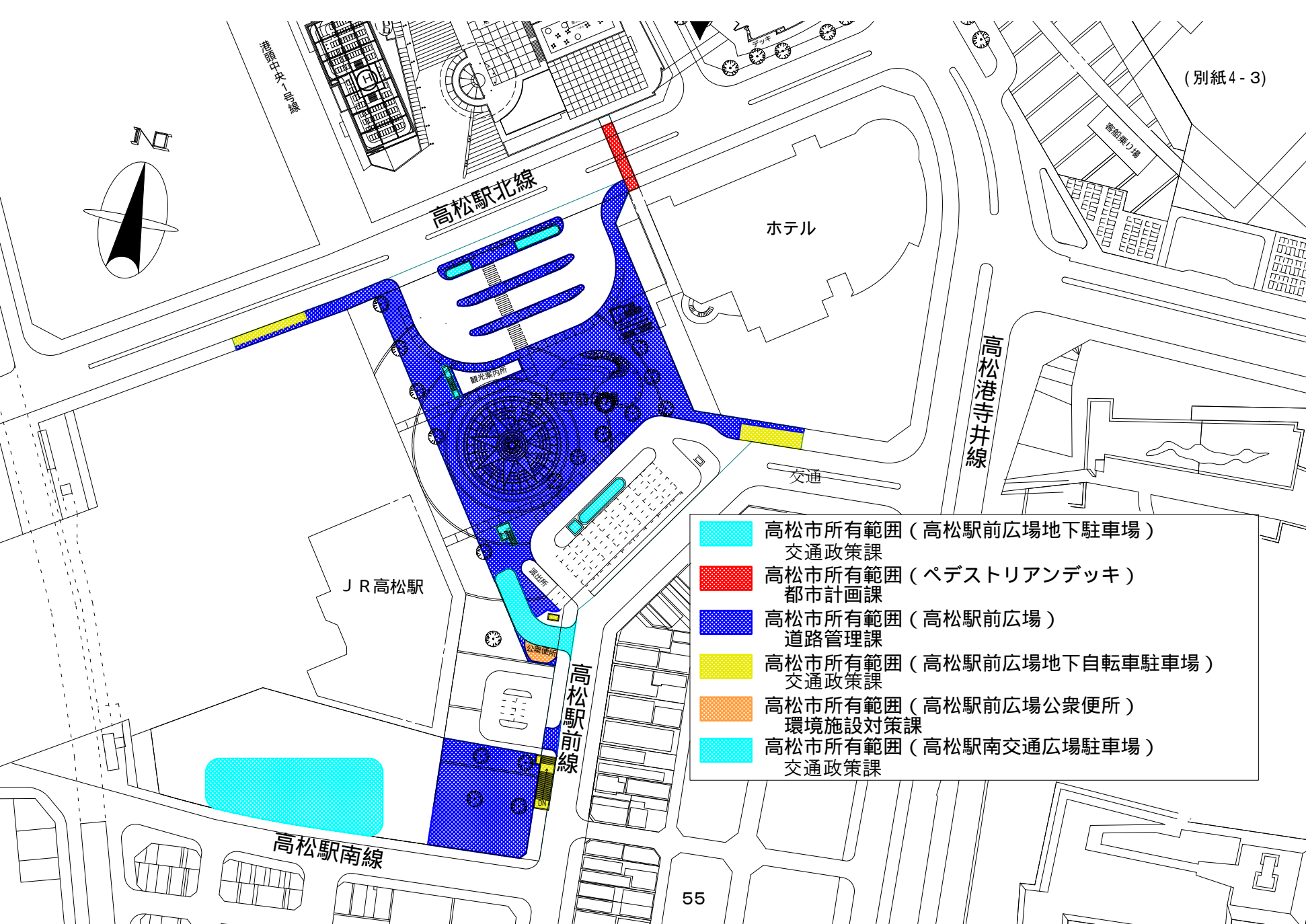
費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場管理運営業務委託	5,660,020
合 計		5,660,020

令和 5 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場管理運営業務委託	5,660,020
合 計		5,660,020

令和 6 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場管理運営業務委託	5,487,655
合 計		5,487,655



- 高松市所有範囲（高松駅前広場地下駐車場）
交通政策課
- 高松市所有範囲（ペDESTリアンデッキ）
都市計画課
- 高松市所有範囲（高松駅前広場）
道路管理課
- 高松市所有範囲（高松駅前広場地下自転車駐車場）
交通政策課
- 高松市所有範囲（高松駅前広場公衆便所）
環境施設対策課
- 高松市所有範囲（高松駅南交通広場駐車場）
交通政策課

(別紙4-4)

令和8年度高松駅前広場地下レンタサイクルポート（以下「ポート」という）管理運営業務

この仕様書は、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間適用する。

1 委託時間及びポートの係員の配置等

(1) 委託時間 午前7時00分から午後11時00分まで

(2) ポートの係員の配置

当該施設内に常時1名以上を配置する。（併設する指定管理施設の管理業務係員と兼ねることができる。）

(3) 条例及び施行規則等関係法令の遵守

高松市レンタサイクル条例（平成13年3月23日条例第28号）及び高松市レンタサイクル条例施行規則（平成13年3月23日規則第24号）（以下「条例等」という。）等関係法令の遵守。

2 管理業務の内容（詳細）

(1) 施設及び車両の維持管理・点検等

ア 施設の防災・防犯に努め、開錠・施錠及び鍵の管理を適切に行う。

イ 施設及び車両の安全性・美観の維持に努め、こまめに点検及び清掃等を行う。その際、施設等に損傷・異常等を確認したときは、利用制限を含む安全確保の後、「高松市レンタサイクル管理センター（以下「管理センター」という。）」に報告し指示を受ける。

(2) 利用承認申請書等の受付及び利用証の交付

ア レンタサイクルの利用の承認を受けようとする者には、条例等の重要な事項等について定めた「高松市レンタサイクルの利用について」（利用のしおり）を渡し、利用上の注意事項等について説明する。

イ ①について了解した者からレンタサイクル利用承認申請書が提出され、申請者本人であることを証明するに足る書類の提示があったときは、申請書の記載等に不備や不審な点がないか確認し申請書を受け取る。

ウ 受け取った申請書について既存データを確認し、問題がなければ承認番号等必要な事項をレンタサイクル管理パソコンに入力後レンタサイクル利用証を交付する。

エ 提出された申請書は定期的に管理センターに引き渡す。

オ 当該事務処理上、不明な点等があるときは、管理センターの指示を受ける。

(3) レンタサイクルの貸出及び返却

利用者に貸出・返却の方法等について説明する。

(4) 車両のレンタサイクルポート間運搬等について

ア 車両の搬入（車両が少ない場合）

(ア) 保管台数が少なくなり貸出に支障をきたす恐れが生じた場合など車両の搬入が必要なときは、管理センターに連絡し搬入を要請する。

(イ) 管理センターが行う車両の搬入に協力する。

(ウ) 搬入した車両を確認し、レンタサイクル管理システムにより車両の搬入移動処理を行う。

イ 車両の搬出（車両が多い場合など）

(ア) 保管台数が多くなり施設管理に支障をきたす恐れが生じた場合など車両の搬出が必要なとき

は、管理センターに連絡し搬出を要請する。

(イ) 管理センターが行う車両の搬出に協力する。

(ウ) 搬出する車両を確認し、レンタサイクル管理システムにより車両の搬出移動処理を行う。

ウ 利用者から返却されたレンタサイクルに故障・整備不良がある場合は、管理センターに連絡し搬送が必要な場合依頼するとともに、レンタサイクル管理システムにより車両の搬出移動処理を行う。

(5) 利用者等からの申し出等についての対応

ア 利用者から苦情・事故等の申し出があった場合、又は施設の損傷・滅失等が判明した場合、その他 6 ポートの管理業務に関し必要なことがあれば管理センターへ報告し指示を受ける。

イ 施設外において不審な車両の発見時、または情報を得た場合には管理センターに連絡する。また、緊急の場合には必要な措置のあと管理センターに連絡する。

ウ 利用者から利用証の紛失により再交付申請について相談があったときは、管理センターに連絡し指示を受ける。

エ 貸出中に故障等が発生し利用者自身で車両を返却できない旨の連絡をおけた場合、管理センターに連絡し指示を受ける。

オ 利用者等から車両盗難の申し出があった場合は管理センターに連絡し、警察署提出用の「盗難届け必要データ」を渡す。警察に盗難届け提出後必ず、提出先・提出年月日を管理センターに連絡するように指導する。

カ その他、利用者から特別な申し出があったときは、管理センターに連絡し指示を受ける。

(6) その他不測の事態における対応

ア 気象状況等により管理センターから車両の貸出業務を中止するよう指示されたときは、施設内にその旨表示するとともに利用者に説明する。

イ 管理センターから指示がなくとも、車両の利用が危険と判断した場合は、6 ポートの判断で、貸出を中止することができる。その場合直ちに管理センターに報告する。

ウ 車両の貸出を中止したときも、車両の返却には応じる。

レンタサイクル管理パソコン等に故障等が発生した場合は、管理センターに連絡して対応を依頼するほか、復旧するまでの間、筆記による台帳記録と電話を併用し、応急の方法により業務を継続する。

(7) レンタサイクルモバイルバッテリー交換

ア モバイルバッテリーの交換を行う業務

レンタサイクルに搭載されているモバイルバッテリーのバッテリーチェックを行い、残量 3 メモリ以下（最大 4 メモリ）のものについては、ケーブルを取り外し、充電済のモバイルバッテリーと取り替える。

イ モバイルバッテリーの充電を行う業務

取り外したモバイルバッテリーについて、所定の場所で、充電を行う。

ウ 施設利用者等の動線について、安全に通行できる状態を確保すること。

エ 毎月の業務実績報告書を翌月の 10 日までに提出すること。

3 服務規律及び業務実施の指導について

(1) 受託者は、利用者等に対し礼儀正しく対応し、誤解を招く又は粗暴にあたる言動があつてはならない。

(2) 市は、必要に応じて、受託者に対して業務の実施について指導することができる。

4 公正な職務の執行の確保について

売買、貸借、請負その他の契約を市との間で締結し専ら当該契約に係る業務、事務等の履行中において、法令等に違反する事実が生じ、または生じるおそれがあると思料するときは、市の内部公益通報制度により通報することができます。(同制度における通報方法：電子メールまたは書面を高松市公正職務審査会に提出（原則として提出者の氏名を明らかにする必要があります。）⇒メールアドレス：naibu.tuho.shinsakai@nifty.com 書面提出の場合の宛先：総務局コンプライアンス推進課内高松市公正職務審査会)。

市の内部公益通報制度について定めた「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」と同条例の施行規則（いずれも総務局コンプライアンス推進課所管）は、契約監理課ホームページに掲載しています。

5 その他

その他 当該業務仕様書に記された以外の業務であっても、その業務が受託者において行うことが適当であり、かつ多大な負担を要しないものであるものについては協議のうえ追加することがある。

施設の概要（レンタサイクルポート）

✓ 高松駅前広場地下レンタサイクルポート

① 施設の概要

設置目的：自転車を近距離公共交通機関の一つとして市民の利用に供するため、その拠点として設置し、地域交通の発展及び自転車の放置防止を図る。

所在地：高松市浜ノ町1番17号（高松駅前地下駐輪場内）

設備概要：管理事務室を含む主要設備は、高松駅地下駐輪場に帰属する。ただし、業務に使用するゲート、パソコン等の機器の管理はレンタサイクル管理センターが行う。
(その他駐輪場兼用)

業務開始日：平成13年5月13日開始

② 利用の種別、利用料

利用の種別	利用期間	利用料（円）	
		一般	学生等
定期利用	1か月	2,000	1,800
	3か月	5,500	5,000
一時利用	0～6時間	100	
	6～24時間	200	
	24時間を超えて利用したときの当該超えた期間	24時間までごとに200円	

③ 利用（開場）時間 7：00～22：00（無人レンタサイクルポート）
7：00～23：00（有人レンタサイクルポート）

④ 現在の管理委託先 シンボルタワー開発株式会社

令和 2 年度～令和 6 年度の決算

高松駅前広場レンタサイクルポート

令和 2 年度

	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場地下レンタサイクルポート 管理業務委託	7,333,329
合 計		7,333,329

令和 3 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場地下レンタサイクルポート 管理業務委託	9,337,000
合 計		9,337,000

令和 4 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場地下レンタサイクルポート 管理業務委託	9,337,000
合 計		9,337,000

令和 5 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場地下レンタサイクルポート 管理業務委託	9,337,000
合 計		9,337,000

令和 6 年度

費 目	内 容	決 算 額
委託料	高松駅前広場地下レンタサイクルポート 管理業務委託	9,337,000
合 計		9,337,000